

コード	20203
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	U・イターン者の受け入れ体制の整備
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	108	関係課名
主管課名	まちづくり推進課	

基本事業の目的

都市部の住民の田舎暮らし志向が高まる中で、人口の減少を少しでも抑制し、様々な経験を有する人材をUターンにより町に呼び込むことで地域の活性化を促すことを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	Uターン者数	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	目標受入数	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成22年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	30組	目標達成数値	*****

年 度			H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	単位	人	7.0	10.0	14.0	17.0	50.0
	実績 B		人	7.0	13.0	29.0	43.0	
	達成率 B/A		%	100.0	130.0	207.0	253.0	
成果指標2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	田舎暮らし体験ツアーや移住希望者の個別案内を実施。町のホームページや、都市部でのイベント(アイランダー、田舎暮らしキャラバン等)でチラシを配布してPRを実施している。また、町内のイターン者同士の情報交換の場として交流会を開催した。
	課題	Uターンを考えている人の相談件数は増加傾向にあり、定年を過ぎても働く意欲が強く、働いている世代からの問い合わせも多いが、移住後の仕事がないことが一番の課題である。また、自分のイメージした自然や環境にそぐわないと移住を見合わせる場合が多く、一概に「空き家があれば即移住」にはつながらないが、多様なシチュエーションの空き家を準備しておくことは重要である。
	改善	対象者の枠が広く、地域が求めるある程度絞込んだ人材の誘致が必要である。定住支援策として「新規就業促進事業(漁業)」や「ナースのしま暮らし体験プロジェクト」などの事業を関係部署と連携し、定住増加を図る。また地区駐在員等を通じて空き家の情報提供と連絡調整をスムーズに行えるよう改善する。

2次評価	取り組みの成果が出てきている。移住希望者のニーズの把握、町の受け入れに対するスタンスを明確にして受け入れ態勢、フォローに努めること。U・イターン者の受け入れは全国的な取り組みの中で共通した課題もあるため、情報収集を積極的に行い、課題解決のための方策を検討し、更に事業の拡充を図ること。
------	--

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。